

当然要因の1つである)。また我々はポスターで研究発表を行ったが、お世辞にも興味をもってくれた聴衆は多かったとは言えない。日頃から魅力的な研究を行い、その成果を積極的に発表していくことによって多くの人と交流を深めたい、との感を一層強くした。

(荻野慎也・清水厚・山之内淳史)

7. 附記

今回のメルボルン集會に引き続き、アデレードでSPARC運営委員会の會議が開かれ、メンバーの田中浩教授(名古屋大学)が出席した。詳細は近々同氏により本誌に報告される予定であるが、その會議では、今回の研究集會でQBOに関連した研究発表が我が国からの6件(高橋、堀之内、柴田、佐藤、内藤、塩谷)をはじめ数多くあったことにかんがみ、新たにSPARCの中にQBOの様々な側面を扱うstudy groupが結成されるはこびとなった。目下、筆者にその取りまとめの依頼が来ており準備中である。

なお、メルボルン集會のプロシーディングは近々印

刷配布される予定なので、関心をお持ちの方は近くの出席者に問い合わせられたい。(廣田 勇)

参考文献

- Lindzen, R. S. and J. R. Holton (1968) : A theory of the quasi-biennial oscillation, *J. Atmos. Sci.*, **25**, 1095-1107.
- Holton, J. R. and R. S. Lindzen (1972) : An updated theory for the quasi-biennial cycle of the tropical stratosphere, *J. Atmos. Sci.*, **29**, 1076-1080.
- Dunkerton, T. J. (1997) : The role of gravity waves in the quasi-biennial oscillation, *J. Geophys. Res.* (CADRE special issue), in press.
- Sato, K. and T. J. Dunkerton (1997) : Estimates of momentum flux associated with equatorial Kelvin and gravity waves, *J. Geophys. Res.* (CADRE special issue), in press.
- Holton, J. R., P. H. Haynes, M. E. McIntyre, A. R. Douglass, R. B. Rood and L. Pfister (1995) : Stratosphere-troposphere exchange, *Rev. Geophys.*, **33**, 403-439.



一覧表

教官公募	465
「衛星データの大气補正の基礎と応用」のご案内	490
「ふしぎ大陸 南極展」のお知らせ	499
地球フロンティア研究システム研究者公募について	531
「第47回科学講演会」開催のお知らせ	532